

2025. 6. 18

## イスラエルの兵器展示「ノン」

【ルブルジェー時事】フランス・パリ郊外で16日開幕した世界最大の航空見本市、パリ国際航空ショーで、イスラエルの兵器展示ブースに黒い遮蔽（しゃへい）物が置かれ、閉鎖されました。同国がイランと交戦状態にあることを踏まえた措置とみられます。見本市主催者が仏政府の指示を受けて対応しました。イスラエル国防省はSNSで「異常で前例のない決定」だと非難。「フランスはあまりに子どもじみている」と主張しました。

同省や報道によると、仏政府は開幕前日の15日、イスラエル側にミサイルなど攻撃用兵器の撤去を要請。イスラエルが「断固として拒否」したため、開幕前に遮蔽物が置かれました。兵器を展示していない同国企業は閉鎖を免れたといいます。

イスラエルの参加を巡っては、パレスチナ自治区ガザでの戦闘を背景に反対論が浮上。AFP通信によれば、一部団体はイスラエルを見本市から排除するよう求め提訴しましたが、裁判所は先週、訴えを退けていました。

パリ航空ショーでブース閉鎖



パリ航空ショーで主催者がブースを閉鎖したイスラエル企業4社のうちの二つエルビット・システムズのブース16日、パリ近郊ルブルジェ空港（ロイター）